

**宮私幼PTAだより**

第80号

発行者 会長 倉本はなみ  
 発行所 宮私幼PTA連合会  
 編集者 稲富 将夫  
 印刷所 仙台市青葉区区分町三丁目6-12 目黒ビル6F  
 電話 (022) 263-7040 番



国は、子どもを生み  
育てやすい政策の確立を！

会長 渥美 巖

悪夢の東日本大震災から一年半が過ぎ、被災地では海岸堤防や漁港の復旧工事が着手され、一歩ずつではあります、着実に復興に向かっております。

この震災で県内の死者・行方不明者は約一万一千人で、両親を亡くした震災孤児は百三十五人、片親を亡くした震災遺児は九百人、合わせると一千三十五人で、内訳は未就学児二百十一人、小学生三百五十二人、中学生二百二十九人、高校生二百四十三人です。

震災孤児の大半が親戚と一緒に暮らし、安心しておりますが、より安定した生活を送り、希望する進路選択が実現できるよう支援金・奨学金制度で、未就学児から大学生まで長期的、継続的に支援する「東日本大震災みやぎ子ども育英基金」が創設され、すでに全国から四十六億円を超える善意の寄付金が集まり、日本人の絆、心の温かさを感じております。

激に変化し、生活・教育格差の拡大傾向も指摘されている中、私たち宮私幼PTA連合会は、宮私幼連合会と連携を図りながら、私立幼稚園児が心身に健全に成長できるように「子どもの為に良い環境づくり、研修や保護者の負担軽減」の目標を立て活動しておりますが、幼児教育に対する国の基本方針が定まらないことが残念です。民主党政権誕生後、検討されてきた「総合こども園」法が三党合意で廃案となり、「認定こども園制度の改善」などの子ども、子育て関連三法案が衆議院で可決されたことは評価致しますが、現場を含めこれまでの議論は一体何だったのかと言わざるを得ません。

人格形成の上で最も重要と言われている幼児期の教育・保育について、国には「より子どもを生み育てやすい政策の確立」を求めたいし、子どもの健康を考える時、放射能汚染対策に万全を期していただきたいと思えます。

平成二十四年度役員名簿

- |       |       |     |       |
|-------|-------|-----|-------|
| 会長    | 渥美 巖  | 副会長 | 中島 源陽 |
| 事務局長  | 菅原 彰  | 監事  | 星 裕子  |
| 常任委員長 | 寺澤 正志 | 委員  | 佐々木幸士 |
| 委員    | 岩山 伸次 | 委員  | 佐々木拓真 |
| 委員    | 塚田 史絵 | 委員  | 三木 道代 |
| 委員    | 堀池 浩子 | 委員  | 二上 道  |
| 委員    | 千葉早都子 | 委員  | 鈴木 順子 |
| 委員    | 畠山 伸世 | 委員  | 小山 郁子 |
| 委員    | 管野 浩一 | 委員  | 阿部今日子 |
| 委員    | 遠藤ゆみ子 | 委員  | 本郷 友道 |
| 委員    | 大友 克寿 | 委員  | 笠間裕貴  |
| 委員    | 高田 和枝 | 委員  | 小野寺洋一 |
| 委員    | 木村 純  | 委員  | 中野 正志 |
| 委員    | 中沢 幸男 | 委員  | 菊地 文博 |

私たちの歩むべき道に  
夢と希望を



大震災の復興・復興をめざして  
復興をめぐして  
宮私幼PTA連合会  
副会長 稲富 将夫  
矢本はなみ 幼T

大震災の傷跡がまだ消えさらないう現在、各PTAの皆様には、災害の復旧・復興に日々全力を傾注されていることと存じます。一日も早く復旧が進むことを心から祈念しております。皆様には厳しい環境の下、多くの難問に真摯に取り組み、幼稚園の正常化の為、ご尽力下さる姿に心から感謝と敬意を表します。

去る六月七日、平成二十四年度宮私幼PTA総会が、仙台市民会館において開催され、新しい組織と指針が示された案件は、全て承認されました。復興が順調に進む「証」か、園児増の報告もなされ、明るい兆しが見えてきたような気がします。又、当日、幼稚園の目標として「すべての子どもの為に、よい環境を与えよう」「よい親、よい教師となる為の研修を深めよう」「保護者の負担軽減の為、更に努力しよう」のスローガンを再確認しました。

震災後の厳しい状況の中、これからは、各PTAが抱えている教育課題の情報交換を密にし、課題



を共有することによって、子どもたちが夢と希望を持ち、明るく、楽しい幼稚園の環境創りをしていくことが大切ではないかと、考えています。一例として、幼稚園の緊急災害対策を考えた時、管理下の安全管理や安全指導（避難訓練・防災訓練など）の計画や実施について、幼稚園と家庭の具体的な連携を図ることが出来るのではないのでしょうか。天災はいつ、どこで起きるか分かりません。子どもたちの尊い生命を守ることは、私たち大人の責務であり、自覚が必要で。

最後に、幼稚園の運営費の補助の増額や保護者への教育費の軽減の措置、公立幼稚園との格差是正など、問題は山積みしていますが、将来の子どもたちの幸福の為に復興の光を追い、共に汗を流したいものです。

宮城県私立幼稚園教育振興大会  
並びに第四十一回研修大会

▽日時  
平成二十四年十月三日(水)  
午前十時三十分～十二時三十分

▽会場  
仙台市民会館大ホール

平成24年度事業計画

平成24年度予算

今年度の目標

- ◇すべての子どもの為に、よい環境を与えよう。
- ◇よい親、よい教師となる為の研修を深めよう。
- ◇保護者の負担軽減の為、さらに努力しよう。

収入の部	3,271,030
支出の部	3,271,030
差引残高	0

宮私幼PTA

宮私幼PTA

期 日	内 容	会 場
24年5月23日	前年度役員会	宮城県議会議事堂応接室
6月7日	平成24年度総会	仙台市民会館小ホール
6月18日	第1回役員会	宮城県議会議事堂応接室
9月1日	宮私幼PTAだより(第80号)2P発行	
9月5日	バレーボール代表者会	仙台市民会館地下展示室
9月10日	第2回役員会	宮城県議会議事堂応接室
10月3日	宮城県私立幼稚園教育振興大会並びに第41回研修大会	仙台市民会館大ホール
10月12日	第37回バレーボール大会	利府グランディ21
12月 日	全日本私立幼稚園PTA全国大会	東 京
3月1日	宮私幼PTAだより(第81号)4P発行	
時 期 未 定	地区研修会(2ヶ所)	
"	県知事への陳情	
"	東北地区私幼PTA連絡会	山 形
随 時	各部会(研修部・体育部・広報部)	
"	常任委員会	

項 目	本年度予算額	前年度予算額	増 減	備 考
収入の部				
1. 会 費	2,000,000	1,944,000	56,000	80円×25,000名
2. 補 助 金	350,000	300,000	50,000	宮私幼より、全日私幼Pより
3. 負 担 金	560,000	0	560,000	バレーボール大会参加費
4. 雑 収 入	40,000	1,000	39,000	預金利子、広告協賛
5. 繰 越 金	321,030	250,763	70,267	前年度より
収入の合計	3,271,030	2,495,763	775,267	
支出の部				
1. 事 務 費	180,000	170,000	10,000	
(1) 消 耗 品 費	10,000	10,000	0	事務用品
(2) 通 信 費	30,000	20,000	10,000	はがき、切手
(3) 印 刷 費	80,000	80,000	0	総会資料
(4) 事 務 所 費	60,000	60,000	0	宮私幼へ
2. 事 業 費	1,830,000	1,130,000	700,000	
(1) 研 修 費	500,000	500,000	0	研修大会、地区研修
(2) 保 体 費	700,000	0	700,000	バレーボール大会
(3) 会 報 費	500,000	500,000	0	会報発行
(4) 渉 外 費	130,000	130,000	0	全国大会参加補助
3. 会 議 費	120,000	170,000	△ 50,000	
(1) 総 会 費	20,000	70,000	△ 50,000	会場費
(2) 役 員 会 費	90,000	90,000	0	会場費、食料費
(3) 常 任 委 員 会 費	10,000	10,000	0	
4. 旅 行 費	150,000	150,000	0	役員交通費
5. 分 担 金	750,000	729,000	21,000	全日私幼PTAへ(30円×園児数)
6. 雑 費	1,000	1,000	0	振込料
7. 予 備 費	240,030	145,763	94,267	
支出の合計	3,271,030	2,495,763	775,267	

※宮私幼PTAホームページを作成しました。(事業計画、あゆみ、会報等)  
 ・宮城県私立幼稚園連合会 (<http://www.miyashiyo.ocn.ne.jp>) よりリンクする。  
 ・宮城県私立幼稚園PTA連合会で検索する。

会員のこゝとば

PTA活動に携わって

折立幼稚園P  
三木 道代



「緊張して足が震える」なんて本の中の話で、まさか自分が実際に

に経験するとは思ってもみませんでした。父母の会の会長という大役をいただき、入園式で祝辞を述べさせていただきました。挨拶を終えて自分の席まで戻ると、極度の緊張で足がガクガクと震えて、うまく歩けなかったのです。この年齢になっても、まだ初めて経験する事がある事に、とてもびっくりしました。

「子どもたちの為に、少しでも力になれば」と思い、引き受けたPTAの活動ですが、日々の活動を通して、色々な方と出会ったり、自分の未熟さに気づかされたり、又、初めての経験をさせていだいたり、常に自分が勉強させられている事に気づきました。子どもたちは、幼稚園生活を通じて心身共に日々成長しています。自分も又、幼稚園のPTA活動に携わり、色々な経験をすることによって、日々成長させてもらっている事を実感しています。「大変だな」と思う時もあります。が、子どもたちの笑顔に支えられながら、この一年間、子どもたちと一緒に成長していきたいと思えます。

皆さんへありがとう

愛耕幼稚園P  
畠山 伸世



のんびんだらりと過ごしてきた私が会長なんて務まるのだろうか！

四月の総会で承認されても未だ不安だらけでスタートしたよつば会(PTA)活動。しかし、園長先生から、「畠山さんは畠山さんのままでいいのよ。」との言葉で肩の荷が降りました。次から次へと行事が舞い込み、怒濤の一学期が終わりました。私には要領が悪いので、人より何倍も時間がかかるし、努力しなければなりません。そのため、私の中でよつば会が占める割合が多くなり過ぎて、家で子どもを見る時間が減り、反省しています。

又、忙しさが容量を越えて落ち込んだ時もありました。そのような時に、役員の方や園のお母さん達に「大丈夫？」「手伝える事があったら何でも言ってね。」と励まし声をかけていただきました。以前新聞で、中学生の子が部活動のキャプテンになった時の経験を讀みましたが、今まさに私がこの年齢で同じように、一人で抱え込まずに皆にお願いしてもらい、感謝しています。頼りない会長で、皆さんにはご迷惑をおかけしていますが、引き続きよろしくお願い致します。

不思議な驚き

角田カトリック幼稚園P  
高田 和枝



年中の娘は工作が好きで、折り紙の花束や新聞紙で作った魔法

の杖など、出来上がるたびに得意げな顔で見せてくれます。完成品を見るのも楽しみです。実をいうと制作に夢中な娘を横から眺めるほうが、私は好きです。下を向いた視線に結んだ唇、薄く紅潮した頬に紙をつまむぶつくりした指。まるで全世界の命運を託されたかのように真剣な表情は微笑ましく、しかし(大げさかもしれません)どこか尊いものに感じられ、不思議な驚きをいつも覚えるのです。

ほかに娘の表情や言葉に、同じような驚きを感じることはありません。時々、子育てに悩んだり、不安になったりすることはたくさんありますが、この「不思議な驚き」を大切にしていきたいこと、そう考えています。

あとがき

「宮私幼PTAだより」第八十号をお届け致します。未来に羽ばたく園児が大きく飛躍することを期待し、あとがき、といたします。